

第35回ろう教育を考える 全国討論集会inわかやま 参加ご案内

メインテーマ

～手話施策推進法でろう教育の未来を切り拓く！～



和歌山城



橋杭岩

●期日：2026(令和8)年8月8日(土)～9日(日)

●会場：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ

主催：特定非営利活動法人 ろう教育を考える全国協議会

主管：第35回ろう教育を考える全国討論集会inわかやま実行委員会
実行委員会構成団体(和歌山聴覚障害教育を語る会 6構成団体)

このたび、「第 35 回ろう教育を考える全国討論集会 in わかやま」を開催する運びとなりました。和歌山での開催は 31 年ぶりとなり、全国から多くの皆さまをお迎えできることを大変うれしく思います。

近年、各地で手話言語条例の制定が進み、また手話施策推進法の成立など、手話を取り巻く環境は少しずつ前進してきました。しかし一方で、きこえない・きこえにくい子どもたちにとって大切な「手話言語の獲得の重要性」や、同じ立場の仲間と関わりながら育つ「集団の中での学びや育ち(集団性)」の意義については、社会や教育現場においてまだ十分に理解が広がっているとは言えない状況があります。言語を早期に獲得すること、そして同じきこえない・きこえにくい仲間とともに学び合う環境は、子どもたちの思考や学び、人格形成を支える重要な基盤となります。

また、近年進められているインクルーシブ教育についても、理念そのものを否定するものではありませんが、きこえない・きこえにくい子どもたちの言語環境や情報保障、仲間との集団的な学びが十分に確保されなければ、子どもたちの成長にとって大切な機会が失われてしまうのではないかという懸念も指摘されています。

本討論集会では、これまでのろう教育の歩みを振り返りながら、きこえない・きこえにくい子どもたちが安心して学び、豊かに成長できる教育環境とは何かについて、全国の仲間とともに学び、議論を深めたいと考えております。

自然と歴史、そして人の温かさに恵まれた和歌山の地で、参加者同士の交流も深めながら、実りある討論集会となることを願っております。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第 35 回ろう教育を考える全国討論集会 in わかやま

実行委員長 福田美枝子

第 35 回ろう教育を考える全国討論集会 in わかやま 開催要項

1. 目 的 : ①きこえない・きこえにくい子どもが、これからの日本を担い得る社会人として、手話言語をはじめとする分かり合えるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことを願い、全国のきこえない・きこえにくい人、保護者、教職員、研究者、手話言語にかかわる人たちが一堂に会し討論することによって、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的とする。
②全国各地のろう教育を考える会の交流を図る。
③開催地を中心とする地域の関係者のより一層の理解と啓発を図る。
2. 事業名 : 第 35 回ろう教育を考える全国討論集会 in わかやま
3. メインテーマ: 「手話施策推進法でろう教育の未来を切り拓く！」
4. 主 催 : 特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会
5. 主 管 : 第 35 回ろう教育を考える全国討論集会inわかやま実行委員会
実行委員会構成団体(和歌山聴覚障害教育を語る会 6 構成団体)
6. 期 間 : 2026 年 8 月 7 日(金)… 全国協議会理事会・総会
8 月 8 日(土) ～ 8 月 9 日(日)… 本集会
7. 開催地 : 和歌山県和歌山市
8. 会 場 : 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ(本集会の会場)
640-8317 和歌山県和歌山市北出島 1 丁目 5 番 47 号
TEL/073-425-3335 FAX/ 073-425-3337
9. 内 容 : 8 月 6 日(木) 全国協議会三役会議
8 月 7 日(金) 全国協議会理事会、総会
8 月 8 日(土) 開会式、全体会、分科会、特別講座、交流会
8 月 9 日(日) 分科会、特別講座、全体報告会、閉会式
8 月 8 日(土)～9 日(日) 小中高校生企画
10. 規 模 : ろう教育を考える全国協議会会員・一般参加者 300 名
小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い 20 名
11. 後 援 : 文部科学省/厚生労働省/こども家庭庁/全国聾学校長会/手話を広める知事の会/
(予定) 全国手話言語市区長会/和歌山県/和歌山県議会/和歌山県教育委員会/和歌山市/
和歌山市議会/和歌山市教育委員会/近畿ろうあ連盟/
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会/社会福祉法人和歌山市社会福祉協議会/
和歌山県立和歌山ろう学校/和歌山県立和歌山ろう学校PTA/
和歌山県立和歌山ろう学校同窓会/和歌山県中途失聴・難聴者協会/
特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会和歌山支部/和歌山県要約筆記会/
和歌山パソコン要約筆記 Friends9/株式会社和歌山新報社/
株式会社テレビ和歌山(順不同)

< 集会日程表(予定) >

※会場は参加人数によって調整します。

日	時間	内容	場所
8/6 (木)	13:00～	三役表敬訪問(和歌山県教育委員会、和歌山県立和歌山ろう学校)	
	15:00～	三役会議	ビッグ愛6階研修室
8/7 (金)	9:30～11:30	理事会	和歌山市ふれ愛センター
	13:00～15:00	定期総会	
	15:30～17:00	分科会打ち合わせ	
8/8 (土)	9:00～	受付	和歌山県勤労福祉会館プラザホープ
	9:30～10:10	開会式・基調報告	
	10:20～12:15	全体会・記念講演	
	13:15～16:50	第1分科会	
		第2分科会	
		特別講座	
		談話会	
	18:30～20:30	交流会	ダイワロイネットホテル和歌山
8/9 (日)	9:00～11:00	第1分科会	和歌山県勤労福祉会館プラザホープ
		第2分科会	
		特別講座	
		談話会	
	11:15～12:00	全体会・閉会式	
8/8(土) 9:00～ 8/9(日) 11:00		小中高校生企画&ろう重複 仲間の集い	紀北青少年の家

プ ロ グ ラ ム

【開会式】 8月8日(土)9:30～10:10(受付:9:00～)

理事長挨拶、来賓祝辞等

基調報告(事務局長 堀米)

【全体会・講演】 8月8日(土)10:20～12:15

テーマ	講 師	内 容
ろう重複児・者の言語獲得と 集団性の意義・これから望むこと	武田 太一 氏 特定非営利活動法人 つくし聴覚・ろう重複セン ター 藤	ろう重複障害がある子どもたちの学習 保障や、成人後に過ごす場の確保な ど共に考えてみましょう。

【分科会 特別講座】

8月8日(土)13:15～16:50、9日(日)9:00～11:00

	テーマ	座長・助言者・講師など	内 容
第1分科会	乳幼児・保護者への 早期支援	<座 長> 徳岡 英一 ろう教育を考える全国協議会理事 <助言者> 菅原 仙子 氏 ・東京都難聴児相談支援センター専門相談員 ・東京都立葛飾ろう学校、都立大塚ろう学校 早期教育相談指導員	乳幼児期のきこえない・きこえにくい子どもとその家族のニーズに応える支援とは。保健、医療、福祉及び教育の連携が地域でどのように展開されているのか。現状や課題、それぞれの立場でできることをみんなで語り合しましょう。
第2分科会	ろう学校・地域との つながり	<座 長> 野崎 誠 ろう教育を考える全国協議会理事 <助言者> 山崎 佳都子 氏 ・聴覚障害教育支援 NPO 法人言葉の森くるめ 理事長 ・福岡県聴覚障がい児・家族支援中核機能強化 連携会議委員、筑後地区実行委員	きこえない・きこえにくい子どもが通う学校がどこであっても、子どもの発達が保障される教育を。そのために、ろう学校・地域がどのようにつながり、教育・支援をどのように展開していくのか。現状や課題、それぞれの立場でできることをみんなで語り合しましょう。
特別講座	想像力と感情を育 てる絵本の手話語り	<講師> 早瀬 憲太郎 氏 ・学習塾早瀬道場 ・大塚聾学校・葛飾聾学校乳幼児教育相談	絵本の世界の中に子どもたちをいざない豊かな体験を届けるための方法やスキルを学びながら、手話言語から始まる新たな絵本の可能性を共に探っていきましょう！

【談話会】 申込みは不要です。(途中入退室も可能で自由にご参加いただけます)

・8月8日(土)13:15～16:50

・8月9日(日) 9:00～11:00

	テーマ	進行担当	内 容
談話会	「ろう重複」の幼児、児童の教育を考え、語り合う	<ファシリテーター> 武田 太一 氏 <スタッフ> 新井 孝昭 ろう教育を考える 全国協議会理事	今、全国のろう学校では、幼児、児童、生徒の総数が減少する中、聴覚障害と他の障害を併せもつ「ろう重複」の幼児、児童、生徒の在籍割合が増えています。 「ろう重複教育」は、全国各地のろう学校の担当教員によって個別的な工夫、体制で行われていますが、実際には暗中模索の状態だと思われます。ろう重複の子どもとは、日々どのようにコミュニケーションを重ねながら関係を築き、育んでいくとよいのでしょうか。 保護者や教員の悩みは尽きません。

【交流会】 8月8日(土)18:30～20:30 ダイワロイネットホテル和歌山

【小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い】 8月8日(土)10:00～16:30

8月9日(日) 9:00～11:00

【閉会式】 8月9日(日)11:15～12:00

分科会・特別講座報告、小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い報告

「明日へのアピール」発表(ろう教育を考える全国協議会事務局)

講師プロフィール

記念講師・談話会 講師 武田 太一 氏

特定非営利活動法人つくし 聴覚・ろう重複センター藤
管理者兼児童発達支援管理責任者

大学生の頃からろう重複児支援の現場で働き始め、
20年近くになる。

聴覚障害者留学奨学金事業の奨学生としてボストン
大学でろう教育修士課程を修了。

バイリンガル聾学校の重複クラスで教育実習の経験あり。
帰国後は支援現場に戻り、当事者支援や家族支援を行う。



分科会助言者・特別講座講師 プロフィール

第1分科会 助言者 菅原 仙子 氏

- ・東京都難聴児相談支援センター専門相談員
- ・東京都立葛飾ろう学校 都立大塚ろう学校 早期教育相談指導員
- ・神奈川県聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業
しゅわまる有識者スタッフ 言語聴覚士

昭和52年4月 東京学芸大学 特殊教育学科
ろう学校教員養成課程入学

昭和56年4月 東京都杉並区立済美養護学校 訪問教育担任

昭和61年4月 東京都立品川ろう学校 玉川分校(幼稚部キャンパス)
乳幼児教育相談、幼稚部担任

平成3年4月 東京都立品川ろう学校(本校に幼稚部統廃合)
乳幼児教育相談、幼稚部担任

平成15年4月 東京都立大塚ろう学校 乳幼児教育相談担任

平成25年4月 東京都立葛飾ろう学校 乳幼児教育相談担任
(令和元年3月 定年退職)

令和元年4月 再任用フルタイムで乳幼児教育相談担当

令和5年4月 同校 再任用フルタイムで幼稚部担当
乳幼児教育相談にも関わる
(令和6年3月再任用退職)

令和6年4月 東京都難聴児相談支援センター専門相談員
東京都立葛飾ろう学校・都立大塚ろう学校 早期教育相談指導員



第2分科会 助言者 山崎 佳都子 氏

- ・聴覚障害教育支援 NPO 法人言葉の森くるめ理事長
- ・福岡県聴覚障がい児・家族支援中核機能強化連携会議委員、筑後地区実行委員

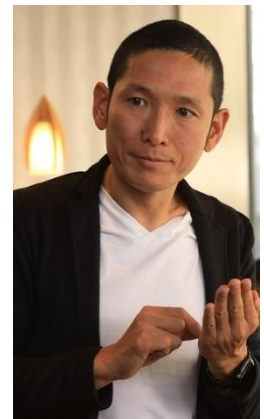


福岡県立久留米聾学校を始め県内の特別支援学校（盲・ろう・肢体・知的・病弱）に 38 年間勤務。（元校長）
退職後、「聴覚障害教育支援 NPO 法人言葉の森くるめ」を設立。
最後の勤務校である久留米聴覚特別支援学校内の空き教室を活用し、聞こえない子どもたちに特化した「聴覚障害児支援かいじゅうの森」（放課後等デイサービス、児童発達支援事業）を開始する。
数年後、熊本聾学校の要請をうけ、同校内にも「かいじゅうの森くまもと」をスタート。
また、相談支援事業や保育所等訪問支援事業を追加し現在にいたる。
法人では、上記の児童福祉法に基づく事業の他に、きこえない・きこえにくいことや手話に関する理解啓発事業を行っている。

言葉の森くるめのホームページ、Facebook、Instagram に情報を掲載しています。

特別講座 講師 早瀬 憲太郎 氏

- ・学習塾早瀬道場
- ・大塚聾学校・葛飾聾学校乳幼児教育相談
- ・神奈川県聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業「しゅわまる」



奈良県出身。
ろう児対象の国語専門学習塾「早瀬道場」を経営（1999～）。
都立大塚ろう学校・葛飾ろう学校乳幼児教育相談指導員（2001～）。
神奈川県聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業しゅわまる代表（2019～）。
「ゆずり葉」「生命のことづけ」「咲む」の監督を務め、数々の映画の手話演出や手話監修を手がける。
NHK オリンピック・パラリンピックの番組にリオ大会からミラノ大会まで出演。
東京 2025 デフリンピックには 4 回目となる自転車競技日本代表として出場した。
スポーツ手話実況者としてプロ野球、サッカーの Jリーグ、卓球の Tリーグ、バスケの Bリーグ等のプロスポーツの実況を行うなど多方面で活躍。
妻は日本初のろう者の薬剤師。

交流会のご案内

全国の仲間と交流し、親睦をはかりましょう。

みなさま、ぜひご参加ください。お待ちしております。

日 時:2026年8月8日(土)18:30～20:30(受付:18:00～)

会 場:ダイワロイネットホテル和歌山 4階 プレジール

住 所:和歌山県和歌山市七番丁26-1 モンティグレ

【最寄り駅】

- ・JR 和歌山駅より和歌山バス「2番のりば」(県庁・和歌浦方面行き)にて約10分、
「和歌山城前」下車すぐ。(JR「和歌山駅」から徒歩の場合は約25分)
- ・南海電鉄和歌山市駅より和歌山バス「1番のりば」(JR 和歌山駅行き)にて約5分、
「和歌山城前」下車すぐ。又は「京橋」下車、徒歩約4分。
(南海電鉄「和歌山市駅」から徒歩の場合は約15分)

TEL: 073-435-3333 FAX:073-423-0057

参加費: 8,000円



小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い

小・中・高校生のみなさんと、ろう重複なかまたちが交流できる企画として、合同1泊2日のキャンプを開催します。

ゲームや体験、交流などを通して、全国から集まるなかまと楽しく過ごします。

はじめて参加する人も大歓迎！みんなで楽しい時間を過ごしましょう。

日 時：2026年8月8日(土)～9日(日)

受 付：9:00～9:30

受付場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 1階

行 き 先：紀北青少年の家

住所:和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降1317-3

TEL:0736-22-5530 FAX:0736-22-5531

参 加 費：1人 8,000円(予定) ※食事代・体験料・交通費・保険料含む

交通手段：貸切バス

《日程予定》

1日目(8月8日)

受付

開会・オリエンテーション

交流活動(ゲーム・体験など)

夕食(BBQ)

交流・キャンプファイヤー

入浴

就寝



2日目(8月9日)

朝のつどい

朝食・荷物整理

交流活動・まとめ・ふりかえり

閉会(勤労プラザホープ)

解散



◆お申し込み方法について

お申し込みには、「団体によるお申し込み」と「個人によるお申し込み」があります。

(1) 団体によるお申し込み

ろう教育を考える全国協議会(以下「協議会」という)加入団体(別掲(20頁))、都道府県のろう協会または聴覚障害者団体および関係団体(手話サークル等)を通じて受付けます。お申し込みは、個人申込書に必要事項をご記入のうえ、参加費等の必要費用を添えて、各団体の担当者へお申し込みください。

※団体が協議会の正会員であっても、個人が正会員または賛助会員でない場合は一般参加となります。

※各団体の担当者は、申し込みを集約し、所定の「総括申込書」に記入のうえ、実行委員会事務局へお申し込みください。なお、参加費等は指定口座へお振込みください。

(2) 個人によるお申し込み(団体によるお申し込みができない場合)

申込書に必要事項をご記入のうえ、実行委員会事務局(下記)へお申し込みください。

参加費は指定口座へお振込みください。

(3) QRコードによる個人のお申し込み(推奨)

右記のQRコードからもお申し込みいただけます。

参加費は指定口座へお振込みください。



【実行委員会事務局】

640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 ビッグ愛6階 (一社)和歌山県聴覚障害者協会
第35回ろう教育を考える全国討論集会 in わかやま実行委員会

TEL:073-488-5243 FAX:073-488-5233 E-mail:jimukyoku@watyosyokyo.or.jp

◆参加費の振込先について

<ゆうちょ銀行>

【記 号】14720 【番 号】19688481

【名義人】一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会 シヤ)ワカヤマケンチョウカクショウガイシャキョウカイ

<他の金融機関からお振込される場合>

【振込先】ゆうちょ銀行 【店 名】四七八 【店 番】478 【口座番号】普通 1968848

【名義人】一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会 シヤ)ワカヤマケンチョウカクショウガイシャキョウカイ

※通信欄に「ろう教育全国討論集会参加費」と明記して下さい。

※振込手数料は各自でご負担をお願いします。

※お申し込み後に参加を取り消された場合、参加費は返金できませんので、あらかじめご了承ください。但し、6月30日(火)までに取消された場合は、集会参加費を除く費用を後日返金いたします。なお、その際の振込手数料は参加者負担となります。また、事務手続きおよび処理の混乱を避けるため、参加申込書の送付と参加費の振込は必ず同時をお願いいたします。

お申し込みは、郵送・FAX・メール添付・QRコードにて受け付けております。

電話でのお申し込みは受け付けておりません。

◆レポート発表について

分科会のレポート発表を希望される方は、「レポート申込書」に必要事項をご記入の上、**6月30日(火)(必着)**までにお申し込みください。

レポートが多数の場合は、協議会と実行委員会で調整させていただきます。
(詳細は 14P～16P をご覧下さい。)

◆チケットの送付について

(1) 団体による申し込み

申し込みいただいた団体に一括送付しますので、お手数ですが、各団体において参加者本人にお届けいただきますようご協力をお願いします。

(2) 個人による申し込み

申し込みいただいたご本人宅に送付します。

◆参加申込書の記入方法について

参加申込書は、分科会等参加、小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い参加、託児希望それぞれにご記入ください。

※申込書は念のためコピーをとって保管してください。

《注意事項》

①団体申込・個人申込、いずれかに○を付けてください。

②都道府県名をご記入下さい。

③参加者の氏名・性別・年齢・住所・連絡先をご記入ください。

④協議会賛助会員の有無、ろう者・きこえる人のいずれかに○を付けてください。

⑤所属団体は、次の中から選んでその番号に○を付けてください。

1.学校関係者 2.保護者 3.きこえない・きこえにくい人 4.手話関係者 5.学生 6.その他

⑥手話通訳以外の必要とする情報保障手段や介助について、該当するものに○を付けてください。

⑦分科会・特別講座を選択された方は2日間とも同じ分科会・特別講座にご参加ください。

分科会・特別講座は、希望されるものに○をご記入下さい。参加者が多い場合は実行委員会で調整する場合がありますので、第1希望・第2希望・特別講座を必ずご記入ください。

⑧託児希望の申し込みには、お子様の氏名・年齢等をご記入ください。

託児時間は、8日(土)9:30～17:00、9日(日)9:00～12:00です。

託児対象児は、原則として3才以上就学前の子どもとします。

託児料は、集会受付時に実費でのお支払いとなります。

おやつ・昼食は各自でご用意ください。昼食は保護者と一緒にとっていただきます。

託児の定員は10名とし、先着順で締め切らせていただきます。

⑨参加に要する費用については、該当欄に○を付け、合計金額を算出してください。

集会参加費	一般参加	6,000円
	協議会正会員(個人)	4,000円
	協議会賛助会員	4,000円
	※2025年度会費(2025年7月1日～2026年6月30日)の納入を済ませていない方は、一般参加扱いとなります。会費納入を済ませてからお申し込みください。 新規入会された場合も会員の参加費となります。 ※所属団体が正会員であっても、個人が正会員か賛助会員でなければ、一般参加となります。 ※当日、受付に集会参加受付と協議会会費受付を設けます。 参加受付:ろう教育を考える全国討論集会inわかやま実行委員会 協議会会費受付:ろう教育を考える全国協議会事務局	
昼食弁当 8月8日(土)		1,000円(お茶付き)
交流会 8月8日(土)		8,000円
小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い 8月8・9日(土・日)		8,000円(予定) (食事代・体験料・交通費・保険料含む)
託児料	8月8日(土)	1,000円(おやつ付き、保険料含む) ※昼食は付きませんので、休憩時間は保護者と一緒に食事をとってください。
	8月9日(日)	500円(おやつ付き、保険料含む)

☆お申込み受付後、申込内容に沿ったチケットをお送りします。

◆和歌山県勤労福祉会館プラザホープへのアクセス

○JR和歌山駅より

徒歩での来館(国体道路を南へ約15分)

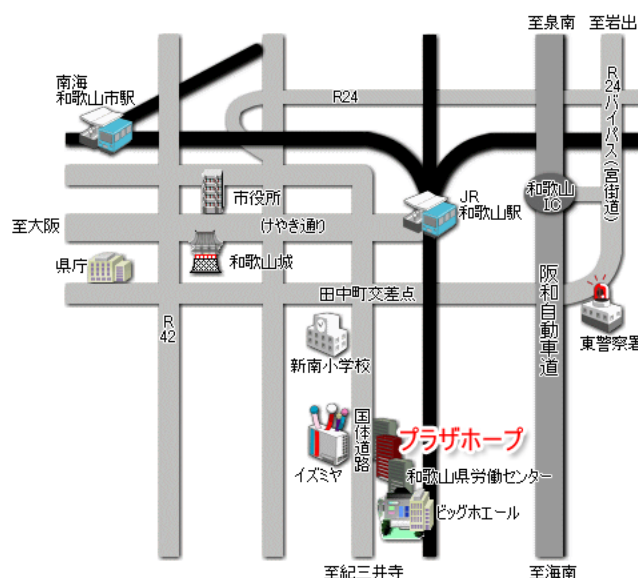
バスでの来館(約5分)

西口バスターミナル1番のりばから「北出島」停留所下車すぐ

○南海和歌山市駅より

バスでの来館(約15分)

1番のりばから「北出島」停留所下車すぐ

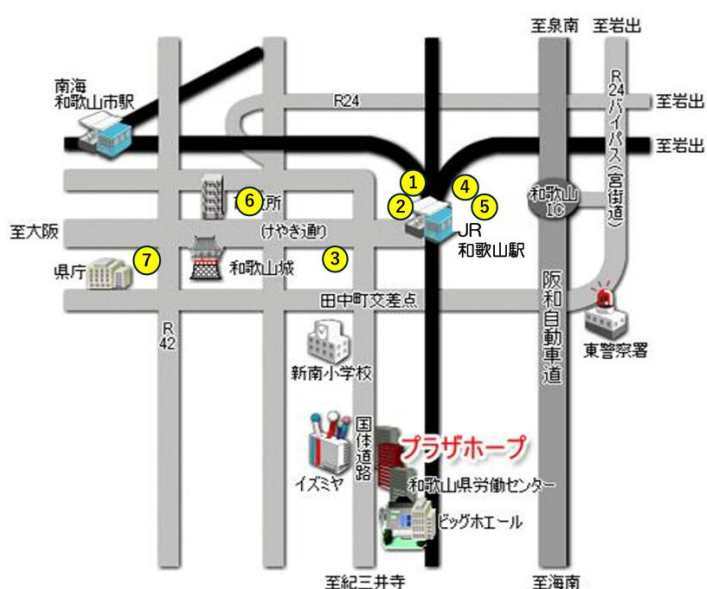


宿 泊 施 設 の ご 案 内

和歌山市内の宿泊施設をご紹介します。

申し込みは各自でお願いします。なお、お申し込みの時期により宿泊料金を変更する場合がありますので、ご了承ください。詳しくは、各ホテルにお問い合わせください。

No.	ホテル名	住所 (和歌山市)	連絡先	マップ
			市外局番 (073)	
1	コンフォートホテル和歌山	和歌山市友田町 5-34-1	TEL 073-426-8911 FAX 073-426-8912	①
2	ホテルグランヴィア和歌山	和歌山市友田町 5-18	TEL 073-425-3333 FAX 073-422-1871	②
3	ドリーミン PREMIUM 和歌山	和歌山市美園 3-36	TEL 073-402-5489 FAX 073-431-5525	③
4	東横 INN JR 和歌山東口	和歌山市黒田 2-1-7	TEL 073-476-1045 FAX 073-476-1046	④
5	ホテルルートイン Grand 和歌山駅東口	和歌山市黒田 2-2-34	TEL 050-5211-5773 FAX 073-475-3102	⑤
6	ダイワロイネットホテル 和歌山	和歌山市七番丁 26-1	TEL 073-435-0055 FAX 073-435-0056	⑥
7	スマイルホテル和歌山	和歌山市南汀丁 18	TEL 073-432-0109 FAX 073-423-1045	⑦



1. レポートの内容と発表方法

- (1)「第35回ろう教育を考える全国討論集会inわかやま」の分科会テーマ、討論の主旨に沿ったものとします。各分科会のテーマと討論の主旨については、この案内書(P4) に記載してあります。
- (2)抽象的な一般論ではなく、体験や実績に基づく具体的な内容で、分科会における問題提起、問題解決のための討論の材料となるものをお願いします。
- (3)発表にあたっては、できるだけOHCやパワーポイントなど視覚的な表示手段を併用するようお願いします。なお、使用する機器については、別紙レポーター申込書の欄に明記してください。パソコンは、各自が持参されるようお願いいたします。
※会場の都合で使用できない場合もあると思いますが実行委員会では最大限の努力をいたします。
- (4)レポートの発表の時間は、1テーマにつき30分を目安にします。
- (5)レポートの発表順、時間等については、当該分科会の座長に一任させていただきます。
なお、特に希望がある場合は、予め実行委員会に申し出てください。

2. レポート発表の日時について

- (1)レポートの発表日時は、追ってお知らせいたします。
- (2)レポーターは、発表する分科会に出席し、分科会討議に参加していただくことを原則とします。
- (3)8月8日(土)12時15分から、各分科会の座長・助言者・通訳者等関係者と顔合わせを兼ねて簡単な打ち合わせを行います。会場は、追ってお知らせいたします。

3. レポーターの人数について

各分科会2名とします。希望者が多数の場合は、座長等の判断に委ねます。

4. レポーターの条件

- (1)「第35回ろう教育を考える全国討論集会inわかやま」への申し込みをされた方に限ります。
参加申し込みをされていない方は、応募できません。
- (2)レポーターの昼食は、実行委員会が負担しますので、レポーターは参加申込書の弁当欄には記入しないでください。
- (3)レポーターには、実行委員会から薄謝を準備いたします。なお、旅費・宿泊費など滞在に要する経費は自己負担でお願いします。

5. 応募方法

添付されている所定のレポーター申込書に必要事項を記入して申し込んでください。

申込締切は、6月30日(火)必着(厳守)です。

6. 予稿について

- (1) A4縦長の用紙にパソコンまたはワープロを使った横書き、2ページまでとします。
記入例は次のとおりです。

分科会 ○

「（記入例）ろう教育に… 」

所属団体 ○○県立○○学校(担当を明記して下さい)

氏 名

住 所 〒

TEL

FAX

E-mail

- (2) いただいた予稿の内容(住所、連絡先は除く)は、そのまま集会プログラム誌に掲載しますので、よろしくお願いいたします。
- (3) 上下左右は各2センチ空けるようにお願いします。
- (4) 予稿の提出は6月30日(火)必着(厳守)です。遅れた場合は、集会プログラム誌への掲載はできません。
- (5) 予稿は、必ず**Eメール(推奨)**か郵送でお届けください。FAXは鮮明でない場合がありますので、ご遠慮下さい。

(わかやま実行委員会 E-mail : jimukyoku@watyosyokyo.or.jp →



- (6) 予稿以外に、当日資料の配布を希望される場合は、当該分科会参加人数に合わせた必要部数を各自で用意して、当該分科会の座長にお渡し下さい。なお、当該分科会参加人数は追ってお知らせいたします。

レポート申込書（申込日： 月 日）

◎6月30日(火)までにお申し込みください。

ふりがな				☐ きこえない・きこえない ☐ きこえる人
氏 名				
所属団体				
住 所	〒			
F A X		TEL		
E-mail				
レポート希望分科会	分科会（ ） テーマ：			
レポートタイトル (仮題でも可) および概要				
発表方法	・手話言語のみ（読み取り通訳込み） ・手話と音声併用 ・音声だけ ・その他（ ）			
使用機器の希望	・OHC ・プロジェクター ・ビデオ ・その他（ ）			
その他 希望や意見、連絡がありましたら記入してください。				

※いただいた個人情報は、当集会の目的以外には利用しません。

第35回ろう教育を考える全国討論集会 in わかやま 参加申込書（申込日： 月 日）

団体・個人

都道府県名：

●申込書は、必ずコピー（控え）をとってお手元に保管しておいてください。

●6月30日（火）までにお申し込みください。

ふりがな		性 別	年 齢	全国協議会の区分※1	ろう者 きこえる人
氏 名		男・女	才 (学年 年)	正会員・賛助会員・非会員	
住 所	〒			所属団体名	
F A X				団体区分（※該当するところに○を付けてください。）	
T E L				1 学校関係者 2 保護者 3 きこえない・きこえにくい人	
E-mail				4 手話関係者 5 学 生 6 その他	
手話言語通訳以外の必要とする情報保障手段や介助に○を付けてください。			1. 磁気誘導ループ 2. 要約筆記 3. 盲ろう通訳（希望の通訳方法）※2 4. 車いす使用 5. その他（ ）		

※1 全国協議会会員の区分＝地域団体の加盟有無に関わらず、個人が正会員か賛助会員であることが条件となります。

※2 盲ろう者の通訳介助は原則会場内とします。会場までの通訳介助者は各自でご手配ください。

■参加記入欄・・・※希望するところに○をつけてください。

●開会式・全体会

	出席	欠席
開会式		
全体会		

●分科会・特別講座

	第1分科会	第2分科会	特別講座	談話会
第1希望				参加自由
第2希望				

※分科会を選択した方は同じ分科会に2日間参加してください。

途中に「談話会」への参加可。

●交流会

交流会参加	
-------	--

■小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い… 小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い参加者は別紙の申込書にも記入してください。

※小・中・高校生企画参加者には万一に備えて傷害保険をかけますので、氏名・生年月日を必ずご記入してください。

ふりがな		生年月日	年齢	性別	ろう・きこえる
氏 名		年 月 日	才	男・女	

■託児斡旋申込・・・※希望欄に○を付け、お子様のお名前、年齢をご記入ください。

対象は3才以上就学前のお子様です。	日	時 間	希望欄	お子様のお名前・年齢・性別
	8月8日(土)	9:30～17:00		ふりがな (才) 男・女
	8月9日(日)	9:00～12:00		ふりがな (才) 男・女

■参加経費・・・※該当する欄に○印及び必要事項をご記入のうえ、申込金額の合計を算出してください。

項 目	種 別	金 額	希望欄	備 考
集会参加費	一般参加	6,000円		
	会 員	4,000円		協議会正会員(個人)・協議会賛助会員
昼食弁当	8月8日(土)	1,000円		
交流会参加	8月8日(土)	8,000円		
小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い	2日間	8,000円		食事・体験料・交通費・保険料含む
託児料	8月8日(土)	1,000円		おやつ付・保険料含む
	8月9日(日)	500円		おやつ付・保険料含む
合計金額		円		

お申込み後、参加を取り消された場合、集会参加費はお返しできません。ご了承ください。

いただいた個人情報、当集会の目的以外には利用しません。託児料は、当日受付でのお支払いとなります。

第35回ろう教育を考える全国討論集会inわかやま

小・中・高校生企画&ろう重複なかまの集い 参加申込書（申込日： 月 日）

◎申込書は、必ずコピー（控え）をとって、お手元に保管しておいてください。

◎6月30日（火）までにお申し込みください。

ふりがな			性 別	ろう者 の場合	コミュニケーション方法
氏 名			男・女		手話言語・口話・筆談
生年月日	平成 年 月 日（ 歳）	学 年 施設名 その他			
住 所	〒				
F A X			T E L		
E-mail					
参加日	2日間参加 8月8日(土)～9日(日) 宿泊地：紀北青少年の家				

保護者記入欄（おとうさんやおかあさんにかいてもらってね）

ふりがな		続 柄	保護者がろう者の場合 コミュニケーション方法
保護者の名前		父 ・ 母 その他（ ）	
緊急連絡先	携帯電話番号：		手話言語 口話 筆談
	携帯アドレス：		
	E-mail：		

健康調査（必ず記入してください）

◆現在、服用している薬はありますか？ ない・ある ⇒ 薬品名、服用回数・量
◆アレルギー（薬、動植物など）、食物制限、湿疹、喘息など、ご心配なことはありますか？
◆スタッフに対して、希望されることや気を付けてほしいことはありますか？

★その他、注意事項があればお書きください

--

※いただいた個人情報は、当集会の目的以外には利用しません。

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会 ごあんない

当協議会は、1989年に結成され、毎年、夏に「ろう教育を考える全国討論集会」を開催してきました。本年は35回目のわかやま集会への参加者を呼びかけています。

また、ろう教育の発展を願って出版活動にも積極的に取り組み、教科ごとの手話の指導書なども発行してきました。

このような実績をもとに、2010年1月5日に、東京都知事から特定非営利活動法人として認証され新たにスタートすることになりました。

この法人は、「ろう・難聴児（者）が、これからの日本を担い得る社会人として、手話をはじめとする分かりあえるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことを願い、全国のろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業、研究企画事業、書籍物出版事業、学校支援事業、普及啓発事業の推進を図ることで、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的とする。」としています。

そして、目的を達成するために、以下の事業を行います。

- (1) ろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業
- (2) ろう・難聴教育に関する研究企画事業
- (3) ろう・難聴教育に関する書籍出版物事業
- (4) ろう・難聴教育に関する学校支援事業
- (5) ろう・難聴教育に関する普及啓発事業
- (6) その他目的を達成するために必要な事業

主たる事務所：〒162-0053 東京都新宿区原町3-61 桂ビル2階

一般財団法人全日本ろうあ連盟気付

代表理事：山根昭治（一般財団法人全日本ろうあ連盟理事）

事業年度は2026年7月1日から2027年6月30日までを現年度とし、各種事業の実施に取り組んでいます。和歌山集会の会場で総会も行われます。

年会費は、正会員（個人・団体）1万円、賛助会員は3千円です。入会は別紙をご覧ください。

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会ホームページにも掲載しています。

<http://www.normanet.ne.jp/~deafedu/>

◇ 総合問合せ先：事務局長 堀米泰晴

E-mail: horigome-yasuharu@deaf-gunma.com

◇ 会費に関する問合せ先：総務（個人会員担当） 櫻井貴浩

E-mail: t-sakurai@watyosyokyo.or.jp

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会

会 員 募 集 の お 知 ら せ

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会では、年1回の全国討論集会開催、会報発行、出版物等を皆さまの会費をもちまして活動しております。ご賛同される方は、賛助会員になることができます。

正会員（個人・団体）

- 年会費… 10,000円（会計年度 7月1日から翌年6月30日）
- 特 典… 1. 総会への参加で意見を述べるができます。議決権があります。
2. 会報「ろう教育の明日」（年3～4回発行）の無料送付
3. 「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

賛助会員（個人）

- 年会費… 1口 3,000円（会計年度 7月1日から翌年6月30日）
- 特 典… 1. 総会への参加（意見を述べることはできますが、議決権はありません。）
2. 会報「ろう教育の明日」（年3～4回発行）の無料送付
3. 「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

入会方法 郵便振替用紙に住所、氏名を書いて、通信欄に、正会員、賛助会員の別、FAX番号、Eメールアドレスなどの連絡先を書いて、下記宛に送金してください。

加入者名 ろう教育全国協議会
口座番号 00820-1-206751

当協議会加盟団体

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| ①一般財団法人全日本ろうあ連盟 | ⑭公益社団法人大阪聴力障害者協会 |
| ②ろう・難聴教育研究会 | ⑮兵庫のろう教育を語り合う会 |
| ③全国聴覚障害教職員協議会 | ⑯一般社団法人奈良県聴覚障害者協会 |
| ④全日本ろう学生懇談会 | ⑰和歌山聴覚障害教育を語る会 |
| ⑤一般社団法人全国手話通訳問題研究会 | ⑱公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 |
| ⑥公益社団法人北海道ろうあ連盟 | ⑲福岡県聴覚障害教育を考える会 |
| ⑦埼玉の聴覚障害教育を考える会 | ⑳熊本県聴覚障害教育を考える会 |
| ⑧東京都のろう教育を考える会 | ㉑一般社団法人鹿児島県聴覚障害者協会 |
| ⑨社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 | ㉒聴覚障害教育支援 NPO 法人言葉の森くるめ |
| ⑩公益社団法人静岡県聴覚障害者協会 | ㉓ひとつ星・さかど |
| ⑪愛知のろう教育を考える会 | ㉔一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟 |
| ⑫近畿ろうあ連盟 | ㉕一般社団法人新潟県聴覚障害者協会 |
| ⑬一般社団法人京都府聴覚障害者協会 | |



学校施設、教科、教育用語から厳選。

2742語を掲載。使いやすい手話満載。

◎「学校の手話」1冊 2,500円

◎送料・払込手数料はご負担ください。

◎10冊以上の場合、1割引します。30冊以上の場合は、2割引で送料サービスします。

NPO法人ろう教育を考える全国協議会のホームページ

<https://deafedu-hp.normanet.ne.jp/>



◆実行委員会事務局所在地・参加申し込み先・レポート提出先
お問い合わせ先は下記へ

【連絡先】

640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 ビッグ愛6階
一般社団法人 和歌山県聴覚障害者協会気付
第35回ろう教育を考える全国討論集会inわかやま実行委員会
TEL : 073-488-5243 FAX : 073-488-5233
E-mail : jimukyoku@watyosyokyo.or.jp

【メール】

